



学校長だより

No. 7 (平成 28 年 11 月 18 日)



秋ふかし となりは何を する人ぞ！

先月、台風の心配をしていたことがうそのように、すっかりと季節は秋になってしまいました。今年のカレンダーも今月を入れてあと二枚、2 学期はいよいよラストスパートになります。

文化・芸術の秋、本校分校では学習発表会や学園祭と、日ごろの学習の成果を保護者の皆様にご覧いただく絶好の機会が訪れています。児童生徒と教職員が一丸となって取組を進めていますので、ご来校いただき、子どもたちへの温かい激励、そして学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

さて 11 月は霜月といい、7 日は立冬、木々の葉は色づき、季節は確実に歩を進め、夜空には冬の代表オリオンが大三角をしたがえ瞬いています。小学生の頃「星の会」に入っていた私は、プラネタリウムが大好きでした。そして、高知の夜空を見上げるたびに、天然のプラネタリウムだと感動していました。しかし、最近では、以前のような感激はなく、観察できる星が減っているなあと感じています。新しくできる図書館には待望のプラネタリウムのある科学館も整備されますが、やや複雑な気持ちになったすっかり日が落ち静かな学校からの帰り道でした。



文化・芸術の秋！

本校・分校では児童生徒の皆さんの学習の成果を披露する行事が目白押しです。5 日の子鹿園分校学習発表会は、どれも素晴らしい発表でした。中でも高等部の劇「アラジン」は笑いあり涙ありの名作でした。続いて 12 日には本校で学園祭が開催され、保護者・地域・関係者の方々に大いににぎわいました。二年に一度のこの行事、ステージ発表と午後は模擬店もあり、趣向を凝らした一大イベントとなりました。最後は児童生徒・保護者・教職員の心が一つとなったパフォーマンスに、全員で感動を味わいました。26 日は土佐希望の家分校の学習発表会です。どんな発表会になるかととても楽しみです。

スポーツの秋！

前回、全国障害者スポーツ大会（岩手大会）に本校高等部 1 年生の松尾美咲さんが、陸上競技に県代表として選出されたことをお知らせしていました。そして、何と！車いす 100m で 4 位、200m は 2 位という素晴らしい結果とメダルを手にして帰ってきてくれました。2020Tokyo はもはや夢ではありませんね。

さて、リオパラで一躍脚光を浴びたボッチャ競技、日本銀メダルは記憶に新しい快挙でした。高知県ではこのたびボッチャ協会が発足し、学校と連携して、競技の普及と競技力の向上を図ります。めざせボッチャ甲子園（特別支援学校全国大会）、そして 2020Tokyo、夢と可能性は広がるばかりですね。



全国特別支援学校肢体不自由教育校長会研究協議会 in 京都！

さる 11 月 9 日（水）～10 日（木）の 2 日間、京都で開催された全国大会に参加してまいりました。やはり京都は寒かった。まだこの季節、高知とそれほど変わらないだろうという認識は甘く、気温差に震え上がり、あわててヒートテックを買いに走ったのでした。しかし、大会の方は熱く、全国から 400 名が参加し、最新の国の動向を知り、教育実践を協議し、本校からは自立活動の取組を全国に発信するなど、大きな収穫を得た 2 日間となりました。

さて、この両日で何度も聴いた言葉、それは「アクティブラーニング」です。学習指導要領の改訂に向けて柱ともなるこの考え方は、今まさに、学びの質が問われる時代に、大切にすべき観点となります。ポイントは 3 つ「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」です。つまり、子ども自らが主体的に、相互に関わり、話し合う、教え合うなどの活動をとおり、生涯にわたって活用できる深い学びを獲得するというものです。教師が何を教えたかではなく、児童生徒が何を学んだかに重点がおかれ、PDCA サイクルで計画的に実践・評価を行い学びの質を高めていくものです。すでに学校では、授業にアクティブラーニングの観点を取り入れた実践を進めていますが、今後さらに研鑽を深め、すべての児童生徒が「できる・わかる」を一層実感する授業に取り組んでまいります。

